

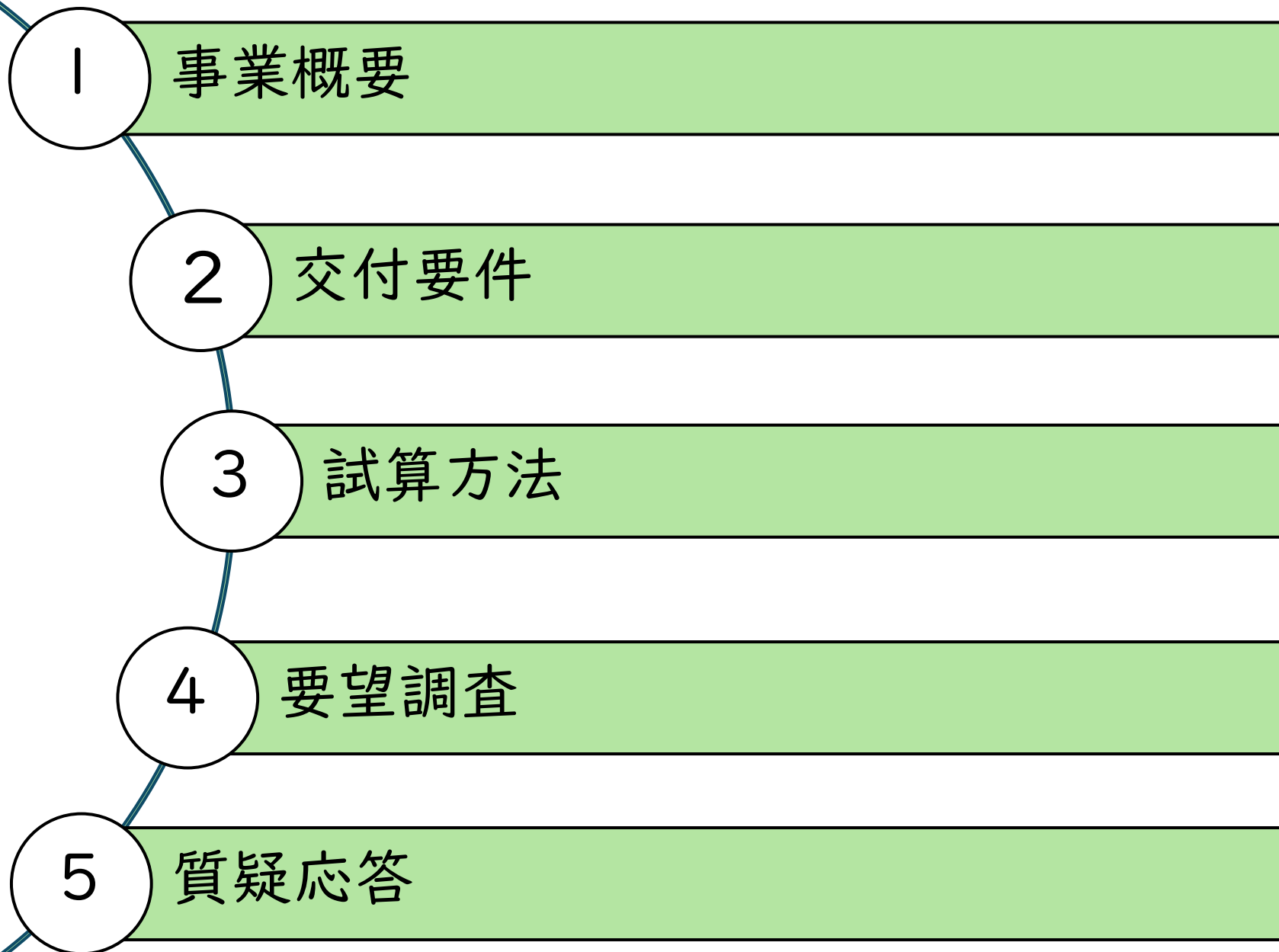
農地集約化促進事業 制度説明会

令和8年7月9日（木）・17日（金）

高島市農業政策課



本日の流れ



農地集約化促進事業の概要 令和8年度～（制度改正後）

地域計画に基づき、農地の集約化（団地化）に取り組む地域を支援する事業です。

事業の変遷

これまで（令和7年度まで）

集約化奨励金



農地の集約化（団地化）
に取り組む地域を支援

地域集積協力金



農地バンクにまとめて
貸し付ける地域を支援

令和8年度の制度改正

ポイント

- ✓ 農地バンクの活用を前提として支援を一本化
- ✓ 地域の取組内容に応じて、4つのメニューに再編

農地集約化促進事業
（令和8年度～）

これから（令和8年度～）

地域の取組内容に応じた4つのメニューで支援

① 基本タイプ



地域内の農地を
集約し、団地化
面積を増やす取組

② 大規模集約タイプ等



一定規模以上の担い手へ、
大きな団地として
集約する取組

③ 誘致団地創出タイプ



新たな担い手が
入りやすい大規模団地
を整備する取組

④ 地域集約化実現タイプ



農地バンクを活用し、
地域全体で農地集約を
実現する取組

なぜこの事業が必要なのか（背景・目的）

農業者の減少・高齢化



担い手が減少し、
将来の農地利用が不安

農地の分散・小規模



農地が分散しており、
作業効率が低い

地域農業の維持が困難



地域農業や農地の保全が
困難になってきている

地域の取組に
財源が必要



地域での話し合いや体制づくり
に財源が必要

地域ぐるみで農地を集約・団地化し、
持続可能な地域農業の実現と農地の有効活用を目指します。



事業の内容

地域計画に基づき、農地バンクを活用して農地の集約化（団地化）に取り組む地域に対して、
取組内容に応じた支援金を交付します。

① 地域で話し合う



地域計画の策定・
課題解決に向けた
話し合い

② 農地を集約・団地化する



分散した農地をまとめ、
担い手へ集積・集約

③ 農地バンクを活用する



農地を農地バンクに貸し付け、
担い手へ貸し付け

④ 目標地図の実現につなげる



目標地図の実現により、
担い手への集約化を
推進

期待される効果



作業効率の向上・
経営の安定化



新たな担い手の確保・
定着につながる



農地の有効活用と
地域農業の維持・発展



地域の取組に
活用できる財源を確保



地域の未来のために、
みんなで農地をまとめ、活かしていきましょう！

団地化の考え方

団地とは、一連の農作業の継続に支障が生じない
2筆以上の隣接する農地のまとまりをいいます。

団地のイメージ

点在している農地



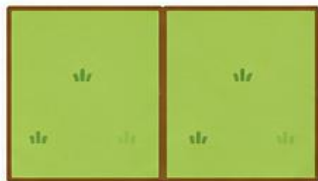
団地化された農地



作業効率が向上し、
生産性の向上につながります！

団地として認められる「隣接」の考え方（以下のいずれかに該当するもの）

1 畦畔で接続する農地



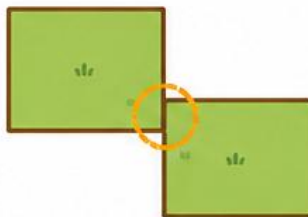
畦畔を介して
接している農地

2 農道又は水路等を挟んで接続する農地



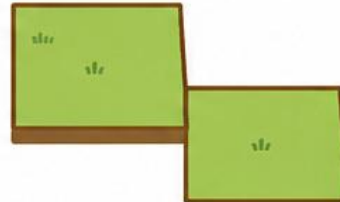
農道や水路などを
挟んで接している農地

3 各々一隅で接続する農地



それぞれの隅で
接している農地

4 段状に接続する農地



段状（高低差がある）に
接している農地

5 借受希望者の宅地に接続している農地



借受希望者の宅地を
挟むように接続している農地



団地化により、移動時間の短縮や作業の効率化が図られ、
担い手への集積・集約化や農業経営の安定化につながります。



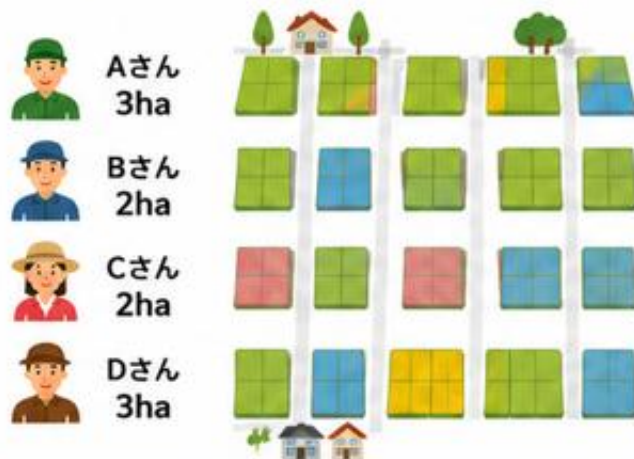
集積化の考え方

集積化とは、農地をできるだけ少ない担い手に集めることです。

地域の農地を担い手へ集めることで、経営規模の拡大や農業経営の安定につながります。

集積化のイメージ

取組前（分散している農地）



地域の農地が複数の農業者に分かれて耕作されている状態

取組後（担い手に集積した農地）



農地を一人（または一つの法人）の担い手に集めた状態

集積化による効果



担い手の
経営規模が拡大する



地域の担い手を
確保・育成できる



遊休農地の
発生を防止できる



農地バンクの
活用が進む



地域計画の
実現につながる

違いを 知ろう！

集積化

農地を担い手へ
集めること

「誰が耕作するか」がポイント



集約化

集めた農地を
まとまりよく配置すること

「どのような配置で耕作するか」がポイント



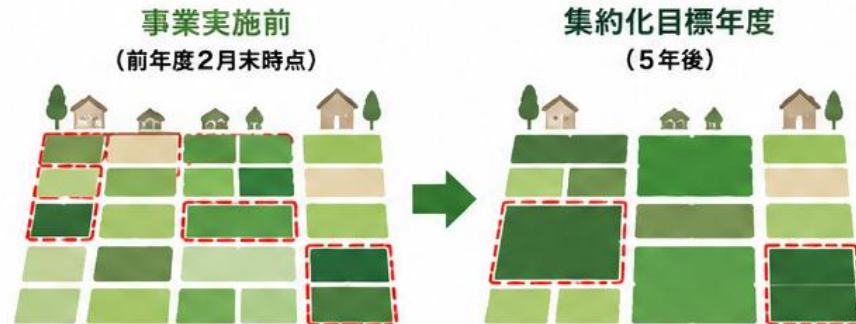
1 集約化加速タイプ（基本タイプ）の交付要件

地域計画に基づき、農地バンクを活用して農地を集約・団地化し、
集約化目標年度（R12年度）までに、以下のいずれかの要件を満たすこと。



要件①

地域の1ha以上（中山間地域等は0.5ha以上）の
団地面積割合を
10%以上 または **20%以上増加**
させること

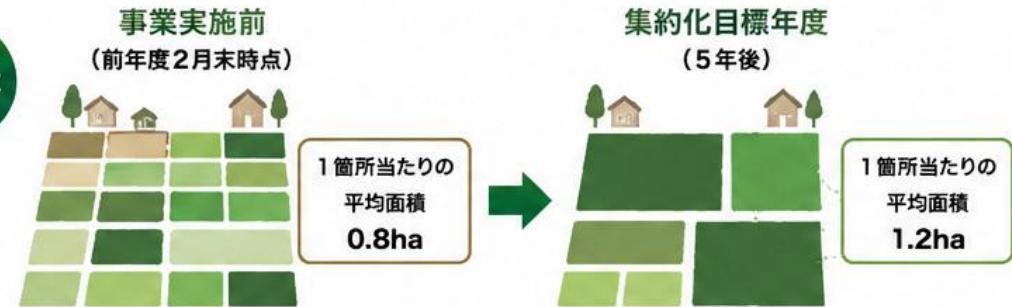


団地面積割合の例

事業実施前 20% → 目標年度 30% **10%以上増加で要件達成!**

要件②

既に団地化率が30%以上の地域では、
1ha以上の団地又は独立するほ場の
1箇所当たりの平均面積を
1.5倍以上に拡大すること



平均面積の例

事業実施前 0.8ha → 目標年度 1.2ha **1.5倍以上で要件達成!**

または

共通 要件



地域計画に基づく取組であること
（目標地図と整合していること）



事業実施年度の翌年度までに
地域計画を変更し公告すること
（目標地図と整合）



農地バンクを活用して
農地を貸し付けること



集約化目標年度は、
事業実施年度から
起算して5年目

✓ 1つの農地について、基本タイプ・大規模集約タイプ・誘致団地創出タイプのいずれかの交付単価が適用されます。

② 集約化加速タイプ（大規模集約タイプ等）の交付要件

基本タイプの要件を満たしたうえで、農地が大規模な経営体に集約され、大きな団地が形成される場合、**より高い交付単価**が適用されます。



地域の話合い



農地バンクを活用



大規模経営体へ集約

追加の交付要件（基本タイプの要件を満たしたうえで、以下の①・②の両方を満たすこと）

① 経営面積の要件

交付対象地域内で、事業実施後に経営面積が以下の要件を満たすこと。

一般地域

15ha以上

中山間地域

7.5ha以上

（樹園地：2ha以上）

② 団地面積の要件

事業実施後に、交付対象となる1団地当たりの面積が次の要件を満たすこと。

一般地域

5ha以上

中山間地域

2.5ha以上

（樹園地：1ha以上）

交付単価（大規模集約タイプ等）

5.0万円/10a

※ 基本タイプは 1.0万円～3.0万円/10a

事業のイメージ（一般地域の例）

現況（事業実施前）



農地を集約・団地化



目標地図（集約化目標年度）



要件達成のイメージ（Dさんの場合）

①経営面積

事業実施後

16ha

→ 15ha以上を達成

②団地面積

1団地当たり

8.0ha

→ 5ha以上を達成

■ Aさん ■ Bさん ■ Cさん ■ その他 ■ 大規模経営体（Dさん） 赤点線：大規模経営体が新たに集約する農地

①と②の両方を満たすため
大規模集約タイプ等の交付単価が適用されます

共通
要件



地域計画に基づく取組であること
（目標地図と整合していること）



事業実施年度の翌年度までに
地域計画を変更し公告すること
（目標地図と整合）



農地バンクを活用して
農地を貸し付けること



集約化目標年度は、
事業実施年度から
起算して5年目



本タイプは、基本タイプの要件に加え、①経営面積の拡大 と ②大きな団地の形成 の両方を実現することで、より高い支援を受けられます。

③ 集約化加速タイプ（誘致団地創出タイプ）の交付要件

地域計画の目標地図において受け手が位置付けられていない農地（白地農地）を集約・団地化し、地域外からの新たな受け手に貸し付けることで、**高い交付単価**が適用されます。



地域の話合い



荒地等を団地化



新たな受け手へ貸付

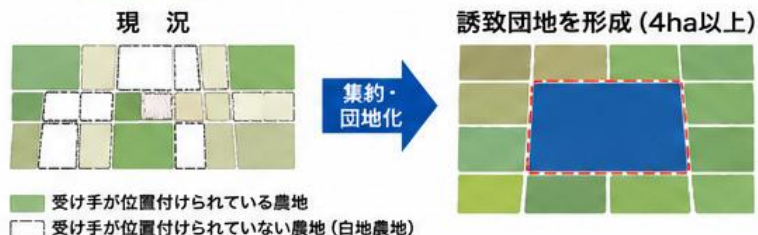


支援金を交付

交付要件（すべての要件を満たすこと）

① 誘致団地の形成

地域内の受け手が位置付けられていない農地（白地農地）を集約・団地化し、**4ha以上**の誘致団地を形成すること。



② 中間管理権の設定

形成する誘致団地内のすべての農地に**10年以上**の中間管理権を設定すること。

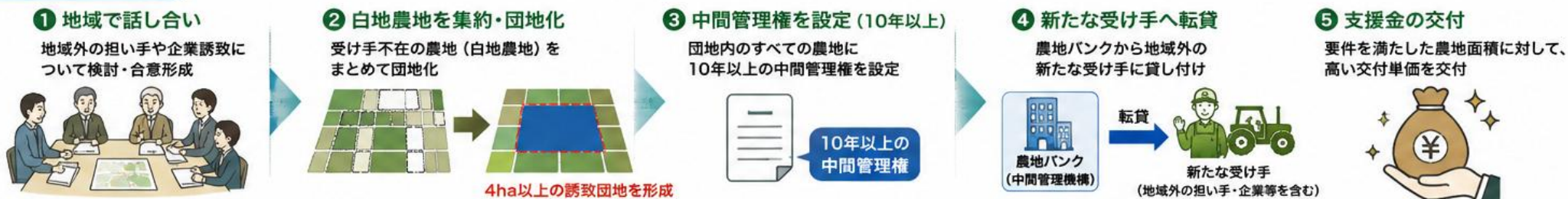


③ 新たな受け手への転貸

形成した誘致団地を、地域外を含む**新たな受け手**に転貸すること。



事業のイメージ



交付単価（誘致団地創出タイプ）

5.0万円／10a

※ 基本タイプは 1.0万円～3.0万円／10a
大規模集約タイプは 5.0万円／10a

共通要件（①～③の全タイプ共通）



地域計画に基づく取組であること
(目標地図と整合していること)



事業実施年度の翌年度までに
地域計画を変更し公告すること
(目標地図と整合)



農地バンクを活用して
農地を貸し付けること
(再貸付を含む)



集約化目標年度は、
事業実施年度から
起算して5年目



荒地等を1か所にまとめて誘致団地を作り、新たな担い手を呼び込むことで、地域農業の未来を切り開きます！

4 地域集約化実現タイプの交付要件

農地バンクを活用して、地域計画の目標地図に基づく農地の集約化を実現するため、地域の農地を農地バンクに貸し付ける地域が受け取れる支援金です。



地域の話合い



農地バンクを活用



目標地図に基づく
集約化の実現



支援金を交付

交付要件

(すべての要件を満たすこと)

1 目標地図内の団地化率の要件

事業実施後（集約化目標年度まで）に、目標地図に位置付けられた農地のうち、1ha以上※の団地面積の合計が

50%以上となること。

イメージ

目標地図に位置付けられた農地

事業実施前

事業実施後（集約化目標年度）



■ 1ha以上の団地

■ 1ha未満の農地・独立ほ場

※ 中山間地域・樹園地は0.5ha以上

2 農地バンク活用率の要件

事業実施後（事業実施年度を含む）に、**農地バンクの活用率**が以下の基準を満たすこと。

農地バンクの活用率 =

$$\frac{\text{農地バンクへの貸付総面積（事業実施年度を含む）}}{\text{（地域の農地面積）}} \times 100$$

一般地域

80%超

中山間地域

60%超

算出のイメージ

80haを貸付

地域の
農地面積
100ha



農地バンク
（中間管理機構）

農地バンク
活用率
80%

交付単価（農地バンク活用率に応じて変動）

農地バンクの活用率

交付単価
（円/10a）

一般地域

中山間地域

80%超

60%超～80%以下

20,000円

—

80%超

26,000円

交付対象農地

事業実施前年度の3月から事業実施年度の2月末までに農地バンクに貸し付けた農地で、以下を除くもの

- 農地バンクへの再貸付農地
- 貸付期間が10年未満の農地



地域の農地所有者

貸付



農地バンク
（中間管理機構）

転貸



担い手へ貸し付け

共通要件



地域計画に基づく取組であること
（目標地図と整合していること）



事業実施年度の
翌年度までに
地域計画を変更し
公告すること
（目標地図と整合）



農地バンクを活用して
農地を貸し付けること
（10年以上の貸付が基本）



地域で話し合い、
目標地図に基づく
集約化を進めること



集約化目標年度は、
事業実施年度から
起算して5年目



農地バンクを活用し、地域全体で農地をまとめることで、将来にわたって持続可能な農業を実現しましょう！



試算例 | 集約化加速タイプ（基本タイプ）+ 地域集約化実現タイプを併用した場合

モデル地区の
イメージ

地区全体の農地
50ha



農地バンク

農地バンクへ
新たに貸付
40ha
(活用率80%)

要件達成

このうち新たに
団地化した面積
25ha
(1ha以上の団地形成)



担い手へ集積
(地域の担い手)



地区全体で
活用率80%超を達成!



1 集約化加速タイプ（基本タイプ）



新たに団地化
した農地
25ha



担い手に集積

新たに団地化した農地

25ha (2,500a) × 3万円/10a
(団地面積20ポイント増加 又は 平均面積1.5倍)

750万円

※交付単価：一般地域 3万円/10a
(中山間地域 3.6万円/10a)

2 地域集約化実現タイプ



農地バンク



新たに貸付した
農地 **40ha**

農地バンクへ貸付した農地

40ha (4,000a) × 2万円/10a
(一般地域・活用率80%超)

800万円

※交付単価：一般地域 2万円/10a
(中山間地域 2.4万円/10a)

合計交付額

地域集約化実現タイプ

800万円

+

集約化加速タイプ（基本タイプ）

750万円

合計

1,550万円

併用することで
約**1,550万円**の支援!



併用の
ポイント!



地域集約化実現タイプ



1ha以上の農地を
農地バンクへ貸付

最大
2万円/10a
(一般地域)



新たに団地化した農地
(団地面積の拡大等)

最大
3万円/10a
(一般地域)



併用で最大 **5万円/10a**
(一般地域)

中山間地域では最大 **5.6万円/10a**

※すでに団地化されている農地は除算となります。 ※大規模集約タイプの要件を満たす場合は、基本タイプより交付単価が高くなります（最大5万円/10a）。

② 集約化加速タイプ

例

団地として認められる「隣接」の考え方（以下のいずれかに該当するもの）

① 畦畔で接続する農地

畦畔を介して接している農地

② 農道又は水路等を挟んで接続する農地

農道や水路などを挟んで接している農地

③ 各々一隅で接続する農地

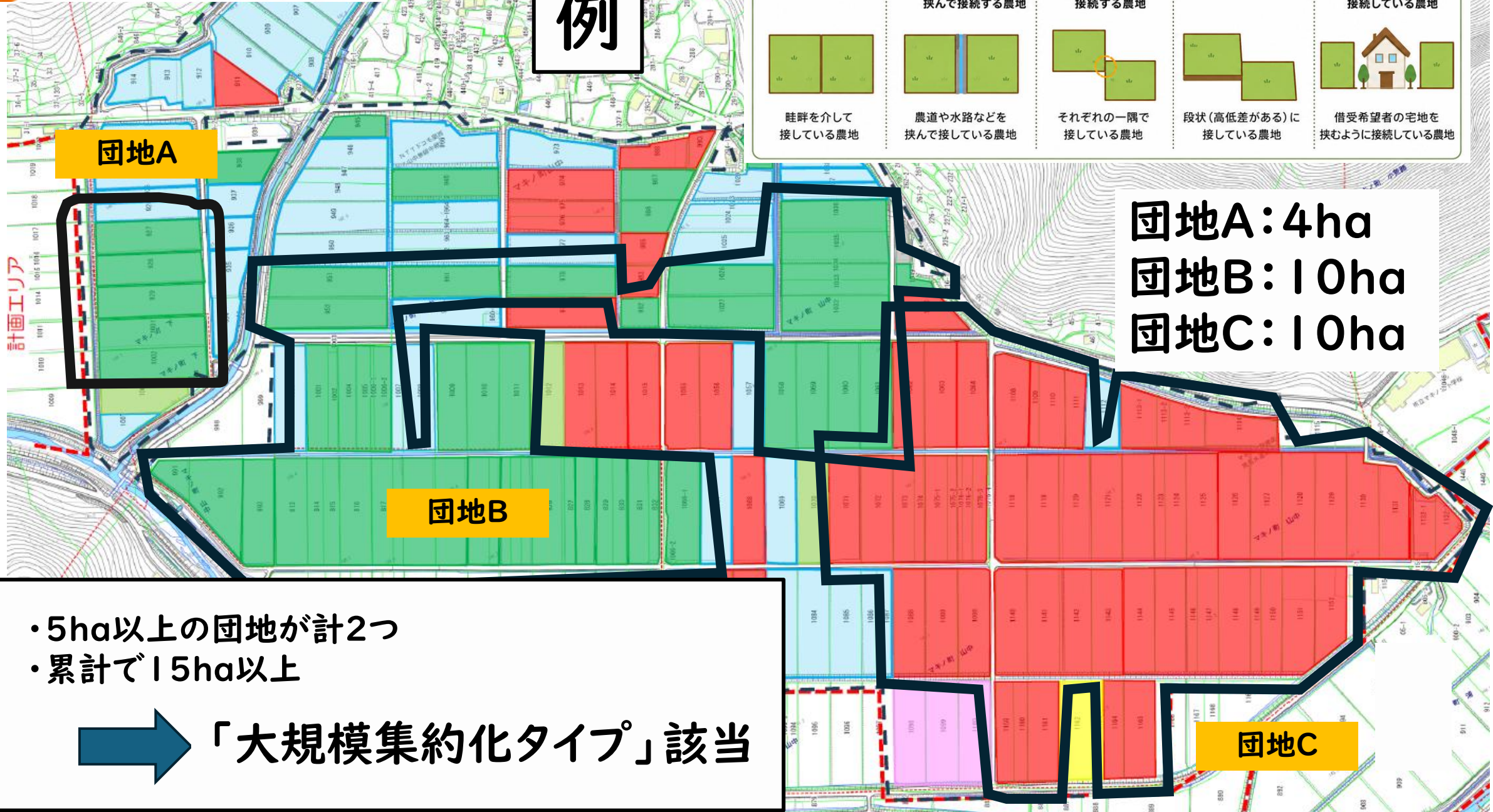
それぞれの隅で接している農地

④ 段状に接続する農地

段状（高低差がある）に接している農地

⑤ 借受希望者の宅地に接続している農地

借受希望者の宅地を挟むように接続している農地



団地A: 4ha
団地B: 10ha
団地C: 10ha

- ・5ha以上の団地が計2つ
- ・累計で15ha以上

➡ 「大規模集約化タイプ」該当

4 地域集約化実現タイプの交付要件

例

水色：農地バンク活用済み

→地域での活用率計20%

緑色計：10ha
R9年中に農地バンク活用

→地域での活用率計60%

赤色計：10ha

R10年中に農地バンク活用

→地域での活用率計80%

令和9年度分進捗分：10ha×20,000円/単価

令和10年度分進捗分：10ha×26,000円/単価

➡ 2年で460万円の交付金

交付単価（農地バンク活用率に応じて変動）

農地バンクの活用率		交付単価 (円/10a)
一般地域	中山間地域	
80%超	60%超～80%以下	20,000円
—	80%超	26,000円

試算表を利用するためにご準備いただくもの

地域の農地情報を入力するだけで、交付要件や支援金額の目安を自動で試算できます！



① 市が提供するもの

自動試算表



地域の農地情報を入力するだけで、
以下を自動で集計・試算します。

- ✓ 該当メニューの判定
- ✓ 団地化の状況
- ✓ 農地バンク活用率
- ✓ 支援金の試算額 など

② 地域でご準備いただくもの



① 農地台帳

農地台帳には、試算に必要なとなる
情報が記載されています。

- 地番
- 登記面積
- 耕作者
- 所有者（地権者）
- 農地バンク活用状況 など



② 耕作者配置図

- ・令和9年4月時点（現状）
 - ・令和13年2月末時点（目標）
- 現状と目標を比較できる
ご準備ください。

③ 農地台帳の取得方法

農地台帳は、農業委員会事務局へ
交付申請して取得できます。



本人による申請が原則です。

農地の所有者ご本人が、農業委員会事務局に
申請して取得します。



**委任状があれば、
組合長等が一括申請**できます。

農地所有者ご本人から委任状を受けた場合、
組合長等がまとめて申請することも可能です。



委任状が取得できない農地がある場合は
ご相談ください！

市外・県外に在住されているなどの理由で、委任状を
取得できない場合は、その農地を担当する農業委員等が
情報を提供できる場合があります。ご相談ください。



地域で情報を持ち寄り、試算表へ入力することで、
申請前に交付要件や支援金額の目安を確認できます！



本試算表は、地域の検討を支援するための参考資料です。入力内容や地域計画の内容によって結果は変わるため、
正式な交付決定額を示すものではありません。

地域での試算表 ※作成中

農地情報
→農地台帳で確認

	A		B				I		J		K		L		M		N		O		P		Q		R		S	
1			農地情報					耕作者情報			団地化情報			農地バンク活用情報（R9.4.1時点）				農地バンク活用情報（R13.2末時点）										
2	番号	地域	大字	字	地番	枝番	登記面積 ㎡	現状（R9.4.1）	目標年（R13.2末）	現状（R9.4.1）	目標年（R13.2末）	始期	終期	存続年	農地バンク 活用	始期	終期	存続年	農地バンク 活用									
3	1	マキノ	牧野	川原	1009		997	〇〇ファーム	〇〇ファーム	1	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
4	2	マキノ	牧野	川原	1010		807	〇〇ファーム	〇〇ファーム	1	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
5	3	マキノ	牧野	川原	1011		2,248	安曇川 祥子	〇〇ファーム	3	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
6	4	マキノ	牧野	川原	1012	1	2,175	安曇川 祥子	〇〇ファーム	4	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
7	5	マキノ	牧野	川原	1013	2	1,782	安曇川 祥子	〇〇ファーム	5	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
8	6	マキノ	牧野	川原	1016		1,574	高島 健太	〇〇ファーム	6	2					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
9	7	マキノ	牧野	川原	1017		1,663	朽木 正一	〇〇ファーム	7	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
10	8	マキノ	牧野	川原	1018	1	1,855	朽木 正一	〇〇ファーム	8	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
11	9	マキノ	牧野	川原	1019		2,190	安曇川 祥子	〇〇ファーム	9	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
12	10	マキノ	牧野	川原	1021	1	2,958	安曇川 祥子	〇〇ファーム	10	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
13	11	マキノ	牧野	川原	1022	1	1,705	安曇川 祥子	〇〇ファーム	11	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
14	12	マキノ	牧野	川原	1023		1,390	安曇川 祥子	〇〇ファーム	12	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
15	13	マキノ	牧野	川原	1024		2,658	在原 和	〇〇ファーム	13	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
16	14	マキノ	牧野	川原	1025		2,284	渡鍋 史郎	〇〇ファーム	14	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
17	15	マキノ	牧野	川原	1026	1	2,041	新旭 太郎	〇〇ファーム	15	3					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
18	16	マキノ	牧野	川原	1027		1,739	谷山 清	〇〇ファーム	16	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
19	17	マキノ	牧野	川原	1028		1,862	今津 拓也	〇〇ファーム	17	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
20	18	マキノ	牧野	ちかじ	1041		1,611	在原 和	〇〇ファーム	18	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
21	19	マキノ	牧野	ちかじ	1042		2,325	在原 和	〇〇ファーム	24	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
22	20	マキノ	牧野	ちかじ	1043		2,228	渡鍋 史郎	〇〇ファーム	21	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
23	21	マキノ	牧野	ちかじ	1044		1,687	朽木 正一	〇〇ファーム	2	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	〇									
	集計シート		農地情報一覧		マスタ																							

地域での試算表 ※作成中

団地情報
→目標地図等で計算

隣接しているなど、団地要件
に当てはまれば「団地1」
「団地2」などと表記

	A	B	C	D	E	F	G	H				N	O	P	Q	R	S		
1	農地情報							耕作者情報		団地化情報		農地バンク活用情報（R9.4.1時点）			農地バンク活用情報（R13.2末時点）				
2	番号	地域	大字	字	地番	枝番	登記面積 ㎡	現状（R9.4.1）	目標年（R13.2末）	現状（R9.4.1）	目標年（R13.2末）	始期	終期	存続年	農地バンク 活用	始期	終期	存続年	農地バン ク活用
3	1	マキノ	牧野	川原	1009		997	〇〇ファーム	〇〇ファーム	1	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
4	2	マキノ	牧野	川原	1010		807	〇〇ファーム	〇〇ファーム	1	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
5	3	マキノ	牧野	川原	1011		2,248	安曇川 祥子	〇〇ファーム	3	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
6	4	マキノ	牧野	川原	1012	1	2,175	安曇川 祥子	〇〇ファーム	4	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
7	5									5	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
8	6									6	2					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
9	7									7	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
10	8									8	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
11	9									9	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
12	10									10	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
13	11									11	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
14	12	マキノ	牧野	川原	1023		1,390	安曇川 祥子	〇〇ファーム	12	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
15	13	マキノ	牧野	川原	1024		2,658	在原 和	〇〇ファーム	13	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
16	14	マキノ	牧野	川原	1025		2,284	渡鍋 史郎	〇〇ファーム	14	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
17	15	マキノ	牧野	川原	1026	1	2,041	新旭 太郎	〇〇ファーム	15	3					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
18	16	マキノ	牧野	川原	1027		1,739	谷山 清	〇〇ファーム	16	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
19	17	マキノ	牧野	川原	1028		1,862	今津 拓也	〇〇ファーム	17	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
20	18	マキノ	牧野	ちかじ	1041		1,611	在原 和	〇〇ファーム	18	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
21	19	マキノ	牧野	ちかじ	1042		2,325	在原 和	〇〇ファーム	24	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
22	20	マキノ	牧野	ちかじ	1043		2,228	渡鍋 史郎	〇〇ファーム	21	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
23	21	マキノ	牧野	ちかじ	1044		1,687	朽木 正一	〇〇ファーム	2	1					R8.7.1	R18.6.30	10.0	○

隣接しているなど、団地要件
に当てはまれば「団地1」
「団地2」などと表記

集計シート

農地情報一覧

マスタ

1

2

3

4

5

地域での試算表 ※作成中

農地バンク活用情報
→農地台帳で確認

農地情報							耕作者情報		団地化情報		農地バンク活用情報 (R9.4.1時点)				農地バンク活用情報 (R13.2末時点)			
番号	地域	大字	字	地番	枝番	登記面積㎡	現状 (R9.4.1)	目標年 (R13.2末)	現状 (R9.4.1)	目標年 (R13.2末)	始期	終期	存続年	農地バンク活用	始期?	終期?	存続年?	農地バンク活用?
1	マキノ	牧野	川原	1009		997	〇〇ファーム	〇〇ファーム	1		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
2	マキノ	牧野	川原	1010		807	〇〇ファーム	〇〇ファーム	1		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
3	マキノ	牧野	川原	1011		2,248	安曇川 祥子	〇〇ファーム	3		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
4	マキノ	牧野	川原								1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
5	マキノ	牧野	川原								1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
6	マキノ	牧野	川原								1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
7	マキノ	牧野	川原								2				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
8	マキノ	牧野	川原								1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
9	マキノ	牧野	川原								1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
10	マキノ	牧野	川原								1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
11	マキノ	牧野	川原								1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
12	マキノ	牧野	川原	1021	1	2,958	安曇川 祥子	〇〇ファーム	10		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
13	マキノ	牧野	川原	1022	1	1,705	安曇川 祥子	〇〇ファーム	11		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
14	マキノ	牧野	川原	1023		1,390	安曇川 祥子	〇〇ファーム	12		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
15	マキノ	牧野	川原	1024		2,658	在原 和	〇〇ファーム	13		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
16	マキノ	牧野	川原	1025		2,284	渡鍋 史郎	〇〇ファーム	14		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
17	マキノ	牧野	川原	1026	1	2,041	新旭 太郎	〇〇ファーム	15		3				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
18	マキノ	牧野	川原	1027		1,739	谷山 清	〇〇ファーム	16		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
19	マキノ	牧野							17		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
20	マキノ	牧野							18		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
21	マキノ	牧野							24		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
22	マキノ	牧野							21		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○
23	マキノ	牧野							2		1				R8.7.1	R18.6.30	10.0	○

現状の契約期間や
目標年度の契約期間を入力

地域に適したメニューや
試算結果を自動計算！

地域での試算表 ※作成中

農地バンク活用情報
→ 農地台帳で確認

現状の契約期間や
目標年度の契約期間を入力

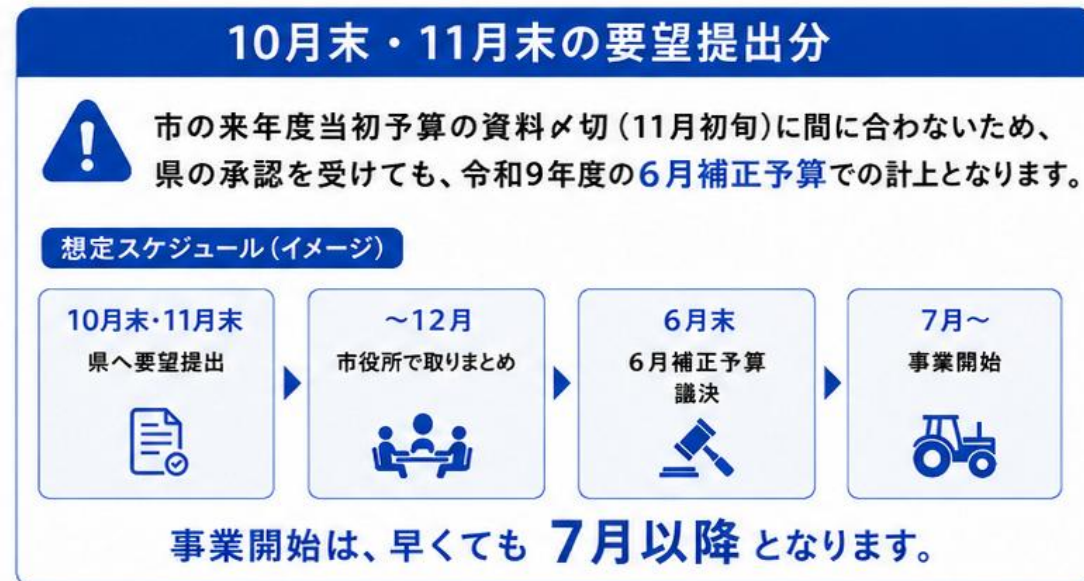
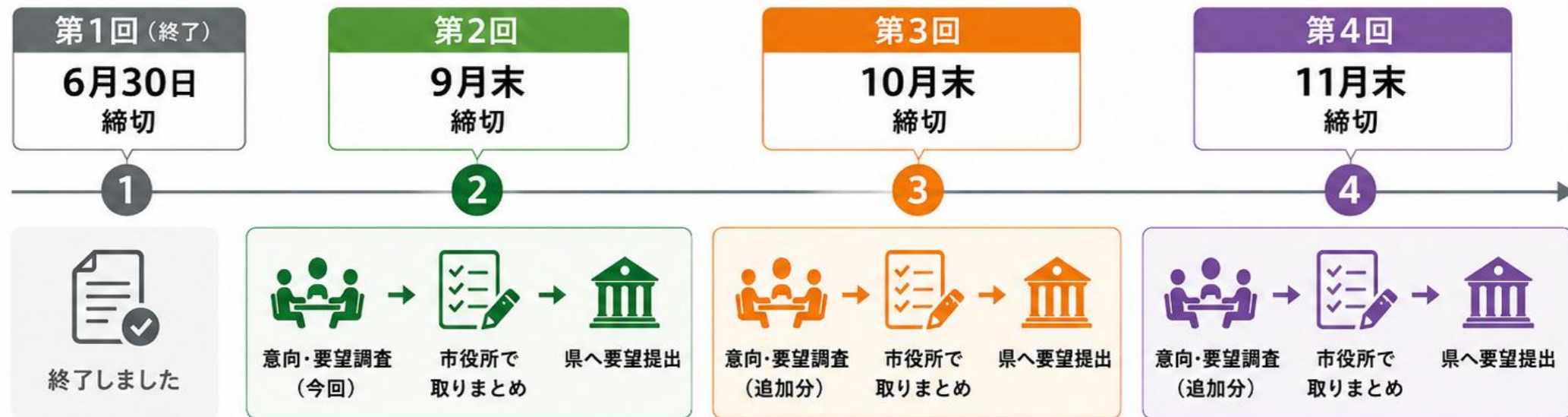
地域に適したメニューや
試算結果を自動計算！

集計シート

4 要望調査



説明会後の要望調査の展望（全体の流れ）



今後、意向・要望調査を実施します。いただいたご意見は、各回の要望に反映していきます。



? 質疑応答



ご質問をお受けします

本日の説明内容について、ご不明な点やご質問がございましたら、お気軽にご質問ください。



その場でお答えできる内容は、
できる限り回答いたします。



制度内容の確認や、国・県への
照会が必要な内容については、
後日、個別に回答いたします。



説明会終了後も ご質問を受け付けています

説明会終了後に疑問が生じた場合や、
本日ご質問できなかった場合は、
質問票・電話・FAX・メール・窓口
でも受け付けています。



質問票の提出期限

令和**8**年**8**月**21**日(金) **16時00分** 必着

提出先

高島市 農業政策課



電話
0740-25-8511



FAX
0740-25-8519



メール
shibata55b@
city.takashima.lg.jp



窓口
高島市役所 農業政策課
(本庁新館1階)



皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

